

## 笠山・堂平山コース案内



ずに直進、一度林道へ出るが、50メートルほど林道を進行方向に歩くと反対側に登山道入口がある。しばらく急登が続く。

⑨笠山西峰とも呼ばれ、そこから5分ほど歩いた所に笠山東峰があり、東峰の方が5メートル程高い。東峰には笠山神社がある。地元では“乳房山”とよばれ、その特徴のある山は遠く離れた町からもすぐわかる。標高は堂平山に次ぐ837m、山頂からは、特に関東平野の眺めが素晴らしい。

⑩下り基調の道が続く。一部、磨かれたようにツルツルの赤土の路面がありとても滑りやすい。何度か林道と交差して、その度に道を迷うことがあるが、よく観察すれば反対側に登山道が続くのがわかる。また途中から「皆谷バス停へ」という導標を見かけることが増えてくるのでこれに従えば萩平へ至る。

⑪沢沿いの舗装路を下っていく。里山風景を抜け、御堂川沿いの車道を下っていく。

①槻川沿いに延びる舗装路を登っていき、杉の植林帯を抜け自然林が混じってくると少しずつ登りがきつくなってくる。

②東西南北から延びてきた車道の合流点。

③峠の東側に入る登山道をしばらく行くと林道を横切り、その対面に続く急な道を登る。

④本コースの最高峰 電波塔が建つ。

⑤剣ヶ峰から下ると先ほど横断した林道と合流、そのまま林道を少し歩くと、左に登山道が分岐するのでそちらへ進む。東大地震研究所の観測施設脇を抜けばしばらく歩くと、樹林を抜けた先にドーム状の建物が見える。

⑥標高875m、山頂には観測ドームがある。ドームの横、笠山峠へ向かう一帯は見晴し抜群。

⑦ここから先はしばらく石混じりの滑りやすい下り道が続く。

⑧林道が抜けている笠山峠。横断して反対側の登山道へ入る。笠山峠の反対側へ入るとすぐに登山道が分岐する。ここは下ら